

結城農業かわら版

第158号 令和5年10月20日発行

TEL 0296-48-0184

FAX 0296-48-2682



HPへアクセス↑

雑草イネが発生していませんか？

刈り取り中のイネに写真1のような赤色や褐色の粒が混入していませんか？

雑草イネは栽培するイネと比べて、①籾がほ場にこぼれ落ちやすく、出穂してからしばらく時間が経過すると籾が多く脱粒する穂が見られる、②籾の色が黒っぽい、③籾の先端や芒（のぎ）が着色している、④出穂期や草丈が異なる、といった特徴があります。

発見が遅れて放置してしまうと、機械作業などで他のほ場へ容易に広がるため、防除を怠ると対処が難しくなっていきます。

そこで、今回は水稻収穫後からできる雑草イネの対策を紹介します。

また、雑草イネは色彩選別機で除去できますが、水田からの発生が無くなるわけではないので、発見次第直ちに除去するようにしてください。



写真1 雑草イネとコシヒカリの籾及び玄米



写真2 雑草が繁茂したほ場(写真右)

雑草イネ防除のポイント

9～10月

4～5月

5月中旬

5月中～下旬

7月下旬～
8月中旬

9月中旬～

収穫

耕起

代かき

移植

出穂期

収穫

・雑草イネが確認された水稻収穫後のほ場では、**秋耕しない***（冬の低温や鳥類の食作用で越冬種子量を減らすため）。

・**耕起直前に非選択性除草剤**で雑草イネを枯殺した後、耕起。

・移植は5月中～下旬に行い、移植までに発芽した雑草イネの種子は代かきにより埋没（回数は荒代・本代の2回）。

・移植後は条間の手取り除草を徹底。

・出穂後12日頃から雑草イネ種子は発芽能力を持つので、出穂後10日以内に手取り除草を実施。

・抜き取り株は畦畔際に放置せず、持ち出して焼却処分。

【除草剤の使い方】

- 雑草イネに効果が確認されている薬剤を使用。
- 初期剤・初中期一発剤・中期剤の3回が目安。
- 5月中旬移植は3回、5月下旬移植は2回を目安に散布。
- 7～10日間隔で1か月間防除を続ける。

*イネ縞葉枯病対策の1つとして秋耕を推奨していますが、雑草イネ対策を優先しましょう。

JA常総ひかり抑制アールスメロン 目揃え会が開催されました

9月8日（金）、JA常総ひかり八千代地区メロン部会を対象に、八千代青果センターにて抑制アールスメロン目揃え会が開催されました。

部会長からは「今年の酷暑のなか仕上がったメロンであるため、しっかりと有利販売に繋げていきたい。」との挨拶がありました。部会員は、出荷品の現物を用いて形状やネット、糖度などの品質区分、出荷規格などを確認しました。

普及センターからは台風の接近・通過による農作物等の被害防止について説明しました。

今後も、露地野菜の高品質・安定生産のため、引き続きメロン産地を支援していきます。



目揃え会の様子↑

結城地域アグリ講座（農業学園）のご案内

結城地域農業改良普及センターでは毎年、新たに農業を始めた方を対象に農業技術や農業経営に関する基礎知識を学び、参加者同士の交流の場として、結城地域アグリ講座（農業学園）を開催しています。

11月21日（火）に開催する第5回講座では、(株)武蔵野種苗新治育種ほ場での見学研修を予定しており、秋冬野菜の新品種の特徴や、栽培管理のポイントを学ぶことができます。

また、今後は先輩若手農業者による自家の経営課題を解決するための手法を学ぶ「プロジェクト発表会」を1月に予定しています。

講座の参加者は随時募集しておりますので、ご興味のある方は普及センターへご連絡ください。



種苗会社見学研修↑
（令和元年）

農作物の盗難に注意しましょう！！

近年、生産者の方々が丹精込めて作られた農作物が盗まれる被害が全国各地で起きています。生産者の皆様にとっては、営農意欲を失わせる深刻な事態です。盗難被害に遭わないよう、防犯カメラの設置やステッカーの貼り付けなど農作物の保管・管理に気を付けましょう！

参考：農林水産省のHP「農作物の盗難防止対策を実施しましょう」
URL：<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/tounan.html>



ステッカーの貼り付け例